

平成23年度 事業計画書

平成23年1月1日から 平成23年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および同高専の国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウムの開催などを計画する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月	東京都	30名	応募学生・教員 ならびに審査委員 700人	14,300
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月	岩手県 一関市	20名	全国高専からの コンテスト出場学生・ 教員及び産業界からの 参加者一般市民 約1000名	
国際コンテスト 運営事業	国際プロコン大会開催	10月	岩手県 一関市	4名	国外からの参加 学生・教員 16名	4,000
産学連携事業	情報産業界と高専教育界の 連携を図るためのシンポジ ウムの開催	8月	鹿児島県 (会場未定)	4名	高専教職員及び 情報系企業参加者 など約100名	200
普及啓発に 関する事業	ホームページ等による交流 活動の啓蒙	随時	法人事務局	2名	情報産業界、 教育界全般及び 一般市民など 不特定多数	100

全国高等専門学校

第22回プログラミングコンテスト開催概要(案)

1. 主催 高等専門学校連合会（国公立高専の連合組織）
2. 共催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
3. 後援（予定）
文部科学省、岩手県、岩手県教育委員会、一関市、一関市教育委員会、財団法人岩手県教育公務員弘済会、財団法人岩手県南技術研究センター、一関商工会議所、社団法人コンピュータソフトウェア協会、社団法人情報処理学会、社団法人電子情報通信学会、教育システム情報学会、独立行政法人情報通信研究機構、NHK、一関工業高等専門学校教育研究振興会、一関工業高等専門学校後援会、一関工業高等専門学校同窓会
4. 主管校 一関工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生（専攻科生を含む）
6. 協賛 特別協賛・一般協賛 20社以上
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門 「旅とコンピュータ」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 応募期間 平成23年5月20日（金）～5月27日（金）
9. 予選（書類による審査）
日時 平成23年6月25日（土）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査、競技は対抗戦）
日時 平成23年10月15日（土）～16日（日）
会場 一関文化センター(岩手県一関市大手町2-16)
11. 審査委員（予定）
神沼靖子(社団法人情報処理学会 フェロー)審査委員長をはじめ10数名
12. 表彰
 - (1) 課題・自由部門（各々）
最優秀賞 優秀賞 特別賞
 - (2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
 - (3) 最優秀賞および優勝チームには、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞が授与される。
13. 備考
NAPROCK 第3回国際プログラミングコンテストを同時開催
全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会参加事業
高専プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>

国際プログラミングコンテスト運営事業

「NAPROCK 第3回国際プログラミングコンテスト」大会概要（案） (NAPROCK 3rd International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 高等専門学校連合会
3. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加するもの)
海外：大学生 (国内において予選等により選抜されたもの)
4. 協賛 全国高専プログラミングコンテストに協賛する会社
5. 募集部門 (高専プロコンに準じる)
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門 (「旅とコンピュータ」をテーマにした作品)
 - (2) 自由部門 (自由なテーマで独創的な作品)
 - (3) 競技部門 (与えられたルールによる対抗戦)
6. 応募期間 平成23年6月3日(金)～6月10日(金)
7. 審査方法・日程
方法 課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査、競技部門は対抗戦
日時 平成23年10月15日(土)～16日(日)
場所 一関文化センター (岩手県一関市大手町2-16)
8. 審査委員 (予定)
神沼靖子(社団法人情報処理学会 フェロー)審査委員長をはじめ10数名
9. 表彰

(1) 課題・自由部門 (各々)	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際特別賞 Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝 Champion	国際準優勝 Second Prize	国際特別賞 Special Prize
10. その他
全国高専第22回プログラミングコンテストと同時開催とする。
高専プロコン委員会および主管校が運営に協力する。
海外チームへの支援は、協賛状況と各国の経済状況を考慮して実施する。

【 参考 】

- 第15回大会（新居浜） ハノイ工科大学（課題部門，競技部門）
【受入・支援】 プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）
- 第16回大会（米子） ハノイ工科大学（課題部門，競技部門）
モンゴル科学技術大学（課題部門，競技部門）
【受入・支援】 (財)国際情報化協力センター(CICC)
プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）
- 第17回大会（茨城） ハノイ工科大学（課題部門，競技部門）
大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）
【受入・支援】 プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）
モンゴル国立大学（課題部門）
【受入・支援】 (財)茨城県情報サービス産業協会
- 第18回大会（津山） ハノイ国家大学（課題部門，競技部門）
大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）
【受入・支援】 津山高専，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）
- 第19回大会（福島） ハノイ国家大学（課題部門，競技部門）
大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）
モンゴル国立大学（課題部門）
【受入・支援】 NPO 法人，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）
- 第20回大会（木更津） ハノイ国家大学（課題部門，競技部門）
大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）
モンゴル国立大学（課題部門）
台湾国立聯合大学（課題部門）
【受入・支援】 NPO 法人，木更津高専
- 第21回大会（高知） ハノイ国家大学（課題部門，競技部門）
大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）
モンゴル科学技術大学（課題部門）
【受入・支援】 NPO 法人

産学連携事業概要（案）

1. 事業内容：情報産業界と高専教育界の連携を図るための講演会と企業説明会の開催

1) 講演会

実施予定日	平成23年8月
実施場所	鹿児島県
講師	本会会員企業の社員
実施テーマ	「情報系業界の今後の進展とそこで働こうとする人材の資質」
受益対象者の範囲及び予定人数	産業界 20名 教育界 120名

2) 企業説明会

実施予定日	平成23年12月
実施場所	東京都
実施テーマ	「情報系業界の今後の進展と求める人材の資質」
受益対象者の範囲及び予定人数：	産業界 5名 教育界 20名 学生 200名

2. 事業概要：高等教育機関に学ぶ学生を取巻く就職に関する昨今の状況は非常に厳しいものが

ある中、高専学生は特別に恵まれた環境にある。高専の教育界は、このような状況に甘えることなく、社会が求める人材の育成に努める必要があり、企業もその発展性と求める人材像を明確に示し求人に当たる姿勢が求められる。このため、産学連携事業として講演会と企業説明会を開催することとした。講演会は多数の高専教員が参加する情報教育研究発表会の開催に合わせ、その会場（鹿児島）で実施する。

企業説明会は東京地区の高専を会場とし、会員の所属する企業の社員から高専の学生と教員を対象に業界や企業の説明・そこで求められる人材の資質について発表をいただき、その模様をテレビ会議システムを用いて全国の高専にもリアルタイムで配信するとともに、録画してオンデマンドで聴講できるようにもする。

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

(1) プロコン事業

- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理
- 20 周年記念誌と連動したコンテンツの整備

(2) 国際プロコン事業

- 国際プロコン運営支援事業の運営に際して、情報の正確性とスピード化を通して国際チーム受け入れを円滑化するため、本格的にホームページの英語版の掲載を進める。

2-2 会員の入会促進

- 会員募集要項の掲載に留まらず、会員に対して今後計画予定の事業（情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウム等）に対して広く理解を求め、活動協力を啓蒙する。

2-3 その他

- 新たに各方面で活躍中のプロコンOBの活動内容の紹介コーナーを作成、ホームページの充実に努める。